

検定試験における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に対する 当会の取組みとお願いについて

2022年1月23日の検定試験実施にあたり、下記のような取組みで臨みたく、ご理解を賜りましたうえで受検のご検討をいただきますよう、お願い申し上げます。

記

1. 実施にあたっての当会の取組み

試験会場

- ・会場入り口における消毒液の用意
- ・試験教室の換気の徹底
- ・入場時の必要に応じた検温
- ・「体温・体調確認票」への記入、提出

試験監督・スタッフ

- ・当日来場前の検温の徹底
- ・試験会場内でのマスク着用・手洗いの徹底

2. お申込みにあたって

受検申請当時と情勢が変化する可能性を考慮し、次の点を充分ご確認ください、ご承諾のうえで、お申込みください。

受検申請受付終了後は理由の如何に関わらず、取消・科目の変更は一切できません（ただし、新型コロナウイルス感染症により受検を控えられた方で、診断書等の証明書類（試験日前後の一定期間のものに限る）の提出があった方については、特例として、受検手数料を返還します）。新型コロナウイルス感染症に不安を感じる方は受検申請をお控えください。

感染の拡大や自治体等の発する移動制限の発令などがあった場合、それを理由にした受検地の変更ならびに試験の取消は一切できません。

試験会場の確保が非常に難しい状況のため、選択いただいた受検地の試験会場が、都府県境をまたいだ周辺都市になる場合があります。試験会場が想定より遠いなどの理由で、試験会場を変更することはできません。また、会場確保の状況によって通常の試験座席配置になる可能性があります。

今後の感染拡大の状況により、全国一斉ないし一部地域・会場での試験の実施を中止する場合があります。

3. 受検にあたってのお願い

受検者の皆様には、裏面「受検にあたってのお願い」をご理解・ご了承のうえ、ご受検をお願いいたします。なお、今後の感染拡大の状況により、変更が生じる場合があります。最新の内容は当会ホームページ (<https://www.kinzai.or.jp/>) でご確認ください。

受検にあたってのお願い

1. 試験日前2週間の体調等の確認

以下の または に該当する場合は、受検をお控えください。

試験日前2週間において以下(ア)～(ク)に該当する項目のある場合

(ア) 37.5 以上の発熱

(イ) 咳、のどの痛みなどの風邪の症状

(ウ) だるさ(倦怠感)、息苦しさ

(エ) 嗅覚や味覚の異常

(オ) 身体が重く感じる、疲れやすい等

(カ) 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触

(キ) 同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる

(ク) 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該国等の在住者との濃厚接触

新型コロナウイルス感染症等に罹患し治癒していない場合(医師によって感染の恐れがないと認められた場合は、この限りではありません)

* 原則、試験を欠席した場合は、受検手数料の返還や振替等の措置はありません。ただし、新型コロナウイルス感染症により受検を控えられた方で、診断書等の証明書類(試験日前後の一定期間のものに限る)の提出があった方については、特例として、受検手数料を返還します。

* 厚生労働省推奨の新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)や各自治体が独自に提供する接触確認アプリから陽性者との接触の可能性の通知を受けた場合の受検の可否は、各アプリの画面説明等に従い最寄りの受診・相談センターにご相談ください。

2. 試験当日の体調の確認

必ず検温を行ったうえでご来場ください(入場時に必要に応じて検温、体調聞き取り調査を実施する試験会場もあります)。なお、試験会場において体温・体調確認票への記入・提出をお願いしますので、ご了承ください。

以下の または に該当する場合は、受検をお控えください。

37.5 以上の発熱がある場合

体温が37.5 未満であっても、風邪の症状、息苦しさ・だるさなどの強い症状のいずれかがある場合

* 原則、試験を欠席した場合、受検手数料の返還や振替等の措置はありません。ただし、新型コロナウイルス感染症により受検を控えられた方で、診断書等の証明書類(試験日前後の一定期間のものに限る)の提出があった方については、特例として、受検手数料を返還します。

3. 試験会場での対策

マスク着用

マスクは各自で持参し、着用をお願いします。マスク着用のない方は、受検をお控えください。

フェイスシールド、マウスシールドを使用する場合でも、併せて必ずマスクの着用をお願いします。

脱水症予防

マスク着用による脱水症予防のため、以下の条件を満たす場合に限り試験中に飲み物をとることを認めます。なお、飲み終わった容器は各自でお持ち帰りください。

・水またはお茶であること(蓋付きのカップコーヒーや紙パック・缶飲料、ストローは不可)

・ペットボトルまたは水筒であること(カバーの使用は不可)

手洗い、アルコール等による手指消毒の励行

試験会場内の手指消毒用アルコールをご利用ください。また、除菌シートや携帯用消毒液、ビニール手袋(透明)を持参し使用することを認めます。

飛沫飛散の防止

試験時間外においても飛沫飛散防止のため試験会場内での私語は極力お控えください。

試験教室の換気

試験時間中に適時窓・ドアを開放し、換気を行います。室温が下がることもあるため、室温の変化に対応できる服装でご来場ください。また、外部の騒音が聞こえる可能性があることをご了承ください。

以上